

## 環境掲示板

### ●植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 4月3日(日) 13:00~14:30

5月1日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

### ●野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 4月9日(土) 9:00~12:00

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

### ●Tシャツからエコ布ぞうりづくり

主催 ごみ対策課

日時 4月21日(木) 13:00~15:45

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 10名(多数の場合は抽選) 無料

申込 往復はがきで4月12日(火)

必着でごみ対策課へ

問合せ ごみ対策課 内線 2534

### ●市民大学講座

「自然と人間の共生

～過去・現在、そして未来～」

主催 三鷹市社会教育会館

日時 5月13日～3月9日

毎週金曜日 10:00~12:00

全30回

場所 三鷹市社会教育会館

対象 16歳以上の三鷹市民

(在勤・在学を含む)

定員 25名 多数の場合は抽選

料金 無料

申込 4月11日(月)～17日(日)

直接又は電話、インターネットで  
社会教育会館へ

問合せ 社会教育会館 内線 3351

## 編集後記

東北地方太平洋沖地震が起こり、巨大な津波による被害、原子力発電所の事故など、被害状況が大変深刻になりました。予想を超えた災害で、人知を超えた自然の力の大きさを感じます。復興に当たっても、謙虚になって、抜本的な対策を行う機会になってほしいものです。市民も各人が身の回りを見直し、省エネ、義援金、支援など、身近なことから実行したいと思います。

尚、本誌は、しばらくお休みになります。

(安達)

発行：みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市環境政策課(環境対策課は

4月から名前が変わりました)

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセン  
や市のHPから入手できます。

# みたか環境ひろば 第35号

2011年4月1日発行

## 三鷹の環境

### みたか環境活動推進会議への期待

みたか環境活動推進会議は、平成19年に策定した三鷹市環境基本計画(改定)に基づき、市民、団体、事業者、市の協働による本計画の推進の取り組みを考え、具体的な実行に移してきました。

6月の環境月間の行事として、市との共催によるエコミュージカルに併せて、昨年、初めて開催した「みたか環境フェスタ2010」は、70余の団体が参加するイベントとなりました。

この間、本会議は、月刊のニューズレター「みたか環境ひろば」を刊行して、市内の環境活動をすすめているグループや事業者、研究施設の情報と月次のイベントを紹介してきました。また、実地見学を盛り込んだ「環境懇談会」を開催しました。

本年度は、環境基本計画2022(仮称)が策定されます。本会議の事務局である環境対策課の岩崎課長は、過去4年間の本会議の成果を踏まえ、さらなる活動の推進を期待すると話されます。



みたか環境フェスタ2010  
2010年6月26日

今年1月1日号の「みたか環境ひろば」に「水と土と緑と生き物を大切にすまらちづくり」をすすめたという提言にありますように、井の頭公園の緑地や、国分寺崖線の湧水をはじめ、市内に残る貴重な自然の保全と新たなまちづくりが求められます。

みたか環境活動推進会議は、期待に添い、新たなメンバーで活動を続けていきたいと思っています。

(山口)

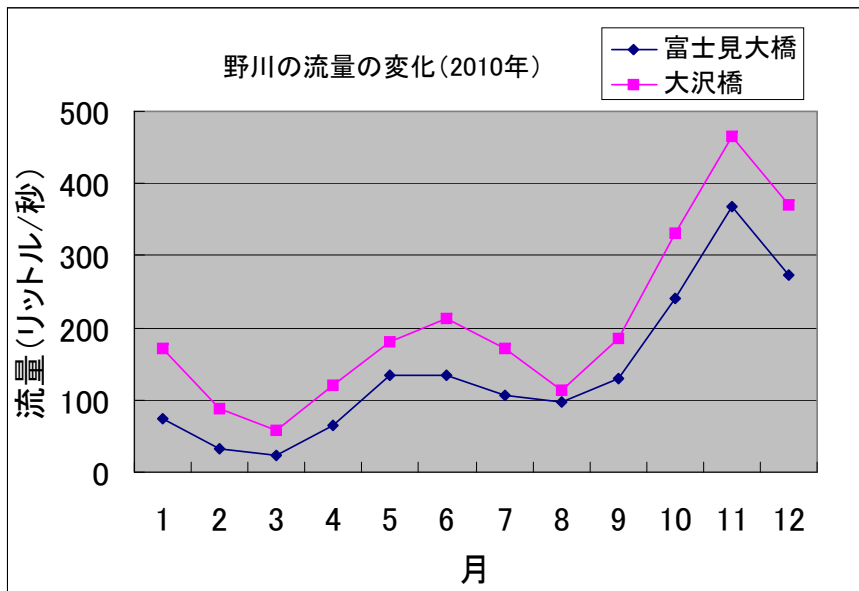
## 野川の流量の年間変化をさぐる（2）

本誌第21号（2010年2月発行）で、2009年の野川の流量の年間変化を報告しましたが、その後も測定を続けてきました。昨年（2010年）1年間の野川の流量の年間変化は、下図に示すとおりでした。二つの山と谷がありました。山は、6月と11月、谷は3月と8月でした。これには、梅雨と秋の雨が影響していると考えています。我々の普通の感覚と合致しているように思います。

平行して、野川に注ぐ湧水量の測定も行いました。こちらは、一市民が測定するには、その測定の精度を確保するのが難しいのですが、場所によっては、簡単な容量法で、かなり納得のいくデータをとれる場所があります。湧水量が毎秒

2リットル以内で、湧水がパイプから出ているところです。その一つは、野川の檜橋際左岸です。国際基督教大学の構内から出て、野川公園東バードサンクチャリを流れる湧水が、野川に流れ出ています。出てくる湧水を、一定時間、容量10リットルほどのバケツに受けて、湧水量の測定を行ないます。この湧水量の年間変化も、山は、6月と11月、谷は3月と8月でした。また、別の浮き法で測定している湧水広場の湧水量の変化も、同様な年間変化を示していました。

国分寺崖線の湧水を集めて流れる野川の流量ですから、湧水量と野川の流量が、同様な変化を示すことは、当然のことです。うなずけます。（安達）



## 地域の環境活動が表彰されました

市では、先導的な環境活動を広く紹介し、市民の環境意識や行動を高めることを目的として表彰を行っています。3月16日に、3件の環境活動が表彰されたので、ご紹介します。（敬称略）

### 環境活動表彰2件

#### 《みたか野川の会》

野川の在来生物を保護し、生物多様性を維持するため、特定外来生物に指定されている植物の駆除を行っています。近隣の団体と連携し、情報交換も行っており、他の地域への活動の広がりも認められています。

#### 《きらめきライフ多摩》

「老人クラブきらめき桜の会」と「さ

くらの会」の2団体と協力して、下連雀一丁目のさくら児童遊園とバンビ児童遊園で、清掃活動・公園樹木の保全・環境学習を実施しています。今後は、市内団体が育てた花の苗を花壇に使用し、環境活動の輪を広げることも考えています。

### 環境活動功労表彰1件

#### 《小俣 たみ》

平成15年から週3回以上、大沢地区の人通りの多い場所を中心に、ごみ・落ち葉の清掃や除草を行っています。この活動によって、ごみの捨てられにくい場所となり、不法投棄の減少に貢献しています。

## 三鷹のみち：玉川上水

玉川上水は承応2年（1653年）に江戸に水を運ぶために開かれた水路です。この水路は飲料水だけでなく灌漑用水や水車の動力として武蔵野の開発に大きな役割を果たしました。近年までこの上水路は淀橋浄水場への導水路として使われて来ましたが、副都心計画による淀橋浄水場の廃止に伴い、昭和40年以降は、水は途絶えていました。その後東京都の清流復活事業により、流れが戻りました。

太宰治が入水したところの少し下流に万助橋があります。さらに下流にほたる

橋、幸橋と続きますが、この区間は上水の土手には桜の巨木等が並び、左手には杉の大木等の樹々が連なります。幸橋を過ぎると右手に民家が見えてきます、明星学園を過ぎると松影橋があります。そこから又、イヌシデ、エゴノキ、コナラなどの落葉広葉樹を主とした雑木林が広がっています。その先は法政大学中学高等学校です。そこからは舗装された道路になります。自然の中の道を歩いてみてはいかがでしょうか。

（森）